

岩槻には匂いがある。

路地裏を板塀に沿って歩いてみると

一陣の風のように

ふと感じられる匂いだ。

5年ほど前

通りに「広小路」や「久保宿通り」といった

木の標識が掲げられた。

城下町だったころから使われる

通りの名だ。

自分が今いるこの場所に

お待さんもいたかと思うと

ちょっとした感慨があった。

見まわせば

歴史ありそうな建物が

自転車屋さんだったり

お菓子屋さんだったり。

当たり前のように現役でいる。

ふと感じたのは

息づく歴史の匂い

人々の手に守られて。